

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2017 AUTOBACS SUPER GT Report

48th INTERNATIONAL SUZUKA 1000km

第6戦 鈴鹿サーキット

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆8月27日(日) RACE

決勝結果 10位

<公式予選>天候：晴れ コース状況：ドライ



思わぬマシンの不調に苦しめられた予選から一夜明け、SUPER GT 第6戦鈴鹿 1000km は決勝日を迎えた。好天にも恵まれ、朝から非常に多くのファンがサーキットを訪れ、観客動員数は過去最高となる4万5000人という数字となった。

LEXUS TEAM ZENT CERUMO はそんなレースで少しでも上位フィニッシュを果たすべく、考え得る打開策を ZENT CERUMO LC500 に施し、午前11時55分からのウォームアップ走行を迎えた。チームは立川祐路にステアリングを託し、2回ピットインをしながら改良を進め、1分52秒821というベストタイムをマークした。

気温30度という酷暑のなかで迎えたスタートで、ZENT CERUMO LC500のステアリングを握ったのは立川。序盤からGT500クラスの上位陣が混戦を展開するなか、立川はウォームアップ走行で得られたデータをもとに改善されたZENT CERUMO LC500を駆り、13番手で周回を重ねていく。このレー



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

スは5回のピットインが義務づけられているが、GT500クラスでは多くのチームが近いタイミングでのピットイン作業を行う展開。立川もランキング上位を争う#23 GT-R や#37 LC500 と同様、28周を終えピットイン。石浦宏明に交代した。

石浦は前を走るライバルたちにペースでも遜色はなく、ピットインで順位を上げ10番手で周回を重ねていくが、39周目に前を走るライバルをスプーンカーブで抜こうとする際、ヒットされてしまいスピンを喫する。幸い、すぐにリスタートすることができ、3つポジションを下げたものの、途中セーフティカーが入ったこともあり中団グループは接近しており、リカバリーは可能かと思われた。



石浦はその後着実に走行を続け、ライバルたちをピタリとマークしながら58周を終えてピットイン。ふたたび立川に交代する。ここでも LEXUS TEAM ZENT CERUMO の作業は早く、ポジションを上げることに成功。立川は#36 LC500 を抑えながら第3スティントに挑んでいた。

しかし、62周目に差しかかった立川の前方に、ピットアウトしてきた#37 LC500 が接近する。アウトラップはタイヤも冷えており、立川は#37 LC500 を難なくかわそうとラインを変えるが、やや#37 LC500 に詰まってしまった。すると、逆バンクで立川の背後につけていた#36 LC500 が ZENT CERUMO LC500 のテールを突くかたちになってしまい、立川はたまらずコースアウトを喫してしまった。

LEXUS TEAM ZENT CERUMO



姿勢を乱した立川はなんとか ZENT CERUMO LC500 をコントロールし、バリアにクラッシュすることは避けたものの、グラベルから脱出するのに時間を要してしまい、これで 14 番手にドロップしてしまう。さらにその直後、LEXUS TEAM ZENT CERUMO のピット

には、ピット作業違反によるドライブスルーペナルティが課されてしまった。

立川がコースアウトを強いられた際にラジエターグリルにはグリーンが入ってしまっていたものの、幸い ZENT CERUMO LC500 に大きなダメージはない。立川は 78 周を終えピットインし、ふたたび石浦に交代。あきらめずに前を追った。



しかし、今度は 95 周目に 130R で GT300 クラスのマシンがクラッシュしてしまい、2 回目のセーフティカーが導入される。すでにラップダウンを喫してしまっていた ZENT CERUMO LC500 は、集団となった際に、上位陣に前を譲らなければならない。すでに ZENT CERUMO LC500 は 2 ラップ

ダウンになってしまい、上位進出は自分たちの手では厳しい状況になってしまった。

それでも粘り強く戦った ZENT CERUMO LC500 は、87 周、121 周、146 周にピット作業を行い、堅実にレースを進める。すると、タイヤトラブルやクラッシュに見舞われ上位陣が 1 台、また 1 台と後退。ZENT CERUMO LC500 は順位が上がっていった。終わってみれば、ZENT CERUMO LC500 は 2 周遅れではあるものの、10 位でフィニッシュ。貴重な 2 ポイントを加算した。



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

これで立川と石浦のドライバーランキングは、トップから16点差の5位となった。まだタイトルは射程圏内であり、次戦のタイでのレースで大きなポイントを獲得できれば、挽回も可能だ。そして次戦からは、ZENT CERUMO LC500 を苦しめてきたウェイトハンデも軽減される。LEXUS TEAM ZENT CERUMO はリベンジに燃え、夜のとばりが降りた鈴鹿を後にした。

ドライバー／立川祐路

「前日からリヤのグリップに苦しむ状況がありましたが、ウォームアップ走行ではその症状を改善させ、グリッドでも作業を行いました。レースをスタートしてからはフィリングも良くなり、レクサスのライバルたちと戦いながら走行を重ねました。ストレートが苦しく厳しい戦いになっていましたが、まずまずの第1スティントだったと思います。しかしその後、自分の2回目の担当のときに、ピット作業で前に出られたものの、ライバルに接触されてしまい、コースアウトしてしまいました。クラッシュだけは避けられたのは幸いでしたが、それで大きく遅れてしまいました。さらに、ピット作業違反でドライブスルーペナルティを受けてしまい、ラップダウンになってしまったのが大きな分かれ目でしたね。さらにセーフティカーのタイミングでも遅れ、最後は自力で挽回できる状況ではなかったです。上位陣の脱落もあって、10位で2ポイントを獲得できたのは不幸中の幸いでしたが、流れが良くなかったです。次戦で挽回するしかないと思います。タイで勝ちたいですね」



ドライバー／石浦宏明

「ピットアウトした時点で、作業も早く10番手に上がることができました。その時点で前を走る4台のライバルよりもペースは良かったのですが、GT300車両をオーバーテイクしようとしたときにライバルを抜こうとしたらヒットされてしまい、スピンを喫してしまいました。その後はリスクを冒さず、ピット作業で前にいこうと思っていたのですが、立川選手がプッシュされてしまう映像が入り、さ



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

らにペナルティも受けてしまった。これで周回遅れになってしまい、さらにセーフティカーでもラップダウンになってしまい、自分たちのレースにはできませんでした。今回、クルマの調子も予想よりも良くなかったですし、まずはクルマの違和感を解決して次戦に臨まないといけないと思っています。チャンピオンシップを考えると、もう落とせないと思っています」

浜島裕英監督

「じっくりと順位を上げていくレースにしたいと思っていましたが、残念なレースになってしまいましたね。結果で言えば、表彰台に上がることも不可能ではなかったと思っています。もう一度基本に立ちかえて、ミスやトラブルがないようにして、残り2戦でなんとかチャンピオンを目指して頑張っていきたいと思います。去年は鈴鹿が良く、タイは厳しいレースになりましたが、今年は逆になるよう、みんなで一歩ずつ詰めていきたいと思います」



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

決勝結果表

Rank	Car No.	CarName	Laps	Total Time	BestLapTime
1	64	Epson NSX-GT	171	5:51'16.244	1'52.068
2	23	MOTUL AUTECH GT-R	171	5:51'28.394	1'52.791
3	100	RAYBRIG NSX-GT	171	5:51'31.981	1'52.474
4	19	WedsSport ADVAN LC500	171	5:51'49.096	1'51.721
5	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	171	5:51'50.333	1'51.524
6	37	KeePer TOM'S LC500	171	5:51'52.574	1'53.121
7	6	WAKO'S 4CR LC500	171	5:51'53.256	1'53.529
8	8	ARTA NSX-GT	171	5:53'14.654	1'53.247
9	36	au TOM'S LC500	170	5:51'57.070	1'53.201
10	38	ZENT CERUMO LC500	169	5:51'59.221	1'53.043
11	12	カルソニック IMPUL GT-R	169	5:52'05.873	1'52.409
12	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	169	5:52'46.150	1'52.532
13	1	DENSO KOBELCO SARD LC500	168	5:45'57.890	1'53.243
14	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R	155	5:52'01.344	1'52.128
15	17	KEIHIN NSX-GT	146	5:01'44.261	1'51.997

